

2025年への対応方針

1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	公益社団法人群馬県医師会群馬リハビリテーション病院
所在地	群馬県吾妻郡中之条町大字上沢渡2136
沿革	昭和37年7月：社団法人群馬県医師会温泉研究所附属沢渡病院として46床にて開設 許可病床：昭和37年9月72床 昭和39年7月114床 昭和42年5月162床 許可病床：昭和52年4月200床 昭和57年3月300床 平成8年6月220床 平成12年12月：回復期リハビリテーション病棟届出 許可病床201床 平成14年1月：許可病床199床 平成15年6月：本館病棟増改築竣工（療養病棟増築他） 許可病床196床 平成25年4月：公益社団法人群馬県医師会群馬リハビリテーション病院に名称変更 令和4年3月：許可病床189床 現在に至る

2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	189 床	床	床	156 床	33 床	床
平均在院日数(※1)	日	日	95.3 日	84.1 日		
病床稼働率(※2)	%	%	86.1 %	41.2 %		

※1 在棟患者延べ数(年間) / (新規入棟患者数(年間) + 退棟患者数(年間)) / 2)

※2 在棟患者延べ数(年間) / 許可病床数(現在) / 365

※3 在棟患者延べ数(年間)、新規入棟患者数(年間)、退棟患者数(年間)は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来(2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	189 床	床	床	156 床	33 床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	今後もリハビリテーション専門病院として、更なる機能の充実を図る。
-------------------	----------------------------------

3. 医療機能について

診療科目	5 科 (リハビリテーション科・内科・整形外科・神経内科・リウマチ科)
------	---------------------------------------

現在	がん	○	脳卒中		心血管疾患		糖尿病		精神疾患	○	在宅医療
	救急		災害	○	へき地		周産期		小児	○	その他
	「その他」の具体的な機能	リハビリテーション									



将来(2025年)	がん	○	脳卒中		心血管疾患		糖尿病		精神疾患	○	在宅医療
	救急		災害	○	へき地		周産期		小児	○	その他
	「その他」の具体的な機能	リハビリテーション									

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	原町赤十字病院	沼田脳神経外科循環器科病院	群馬大学医学部附属病院
主な紹介先医療機関	原町赤十字病院	渋川医療センター	沼田脳神経外科循環器科病院

5. 当院の特徴について

特徴的な	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリ専門医をリーダーとし多職種でチーム医療を行っている。 ・神経内科医、回リハ認定看護師、脳卒中専門理学療法士等がチームに加わり集中的リハビリテーションを行っている。 ・患者の状態に応じて認知症看護認定看護師やNSTがチームに参加できる体制を整えている。
特徴的な	<ul style="list-style-type: none"> ・健康運動指導士による集団での体操、水中運動、リハビリテーションスポーツを実施し、運動機能・体力の向上、健康維持・増進を図っている。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<p>リハビリテーション専門病院として、患者さんのより良い社会復帰・家庭復帰を実現するために、「まごころ・ふれあい・おもいやり」を基本方針として、医師・看護スタッフ・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・健康運動指導士・社会福祉士・薬剤師・栄養士などの専門スタッフがチームを組み、365日全力で取り組んでいる。</p> <p>また、吾妻郡内6町村と協力し、介護予防教室などの運営補助や、中之条町営の介護老人保健施設「ゆうあい荘」の協力病院として人材協力を行っている。</p>
当院の未来像	<p>リハビリテーション専門病院として、更なる機能の充実を図るとともに、医師、療法士、看護師等の技術の向上とその育成、さらに患者さんの立場に立った魅力ある・選ばれる病院を目指す。</p>
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	<p>これからもリハビリテーション専門病院として、県内外の患者さんが必要とする医療を「まごころ・ふれあい・おもいやり」の基本方針をもって提供していきます。</p>

2025年への対応方針

1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	医療法人弥生会 吾妻さくら病院
所在地	群馬県吾妻郡中之条町大字伊勢町782-1
沿革	<p>昭和56年：医療法人弥生会 吾妻中央病院 一般145床</p> <p>平成12年：病床数変更 123床（一般72床 医療療養24床 介護療養27床）</p> <p>平成14年：病床数変更 114床（一般43床 医療療養24床 介護療養47床）</p> <p>平成23年：病院名変更 吾妻さくら病院</p> <p>平成23年：病床数変更 114床（一般16床 医療療養51床 介護療養47床）</p> <p>平成30年：介護療養（47床）から介護医療院（47床）に転換</p> <p>令和元年：病床数変更： 67床（一般7床 医療療養60床）</p> <p>現在に至る</p>

2. 病床について （病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	67 床	床	床	床	60 床	7 床
	平均在院日数	日	日	日	328.4 日	
	病床稼働率	%	%	%	98.1 %	



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設 等への移行
	67 床	床	床	7 床	60 床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	<p>今後も療養・透析・在宅を中心とした医療を提供していくとともに、病床機能の充実を図る。2019年に休止病床9床を医療療養に転換し、医療療養60床、休止病床7床となる。2025年までには休止病床7床を転換して合わせて7床の地域包括ケア病棟を計画している。</p>
-------------------	--

3. 医療機能について

診療科目	10 科（ 内科、外科、整形外科、胃腸内科、糖尿病内科、精神科、心療内科 リハビリテーション科、放射線科、人工透析内科 ）
------	--

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	○	糖尿病	精神疾患	○	在宅医療
	○	救急	災害	へき地	周産期	小児	○	その他
	「その他」の具体的な機能		維持透析					



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	○	糖尿病	精神疾患	○	在宅医療
	○	救急	災害	へき地	周産期	小児	○	その他
	「その他」の具体的な機能		維持透析					

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	原町赤十字病院	利根中央病院	群馬リハビリテーション病院
主な紹介先医療機関	原町赤十字病院	利根中央病院	日高病院

5. 当院の特徴について

特徴的な 入院体制	医療保険での医療療養病棟と介護保険での介護医療院を有し、患者様の症状に応じた入院機能を設けている。
特徴的な チームワーク	内科、外科を軸に在宅医療、人工透析、慢性期入院と医師を中心にスタッフ同士が密に連携を図り、全身管理を念頭にチーム医療を提供している。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	地域のかかりつけ医として、在宅医療（訪問診察、訪問看護）、一般外来、人工透析、入院（医療療養・介護医療院）と幅広く対応している。
当院の未来像	地域包括ケア病床を新設し、地域の医療機関や介護事業者との連携を深め、利便性の高い病院を目指す。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	在宅医療（訪問医療・訪問看護）、一般外来、人工透析や入院機能（医療療養・介護医療院）の充実を図り、地域の患者様が必要とする医療・介護を提供していきます。 2年後には急性期医療を終えた患者様に対して引き続きリハビリテーション等の提供を行う地域包括ケア病棟を整備する予定です。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人修幸会 草津こまくさ病院
所在地	群馬県吾妻郡草津町草津464-701
沿革	平成19年：医療療養病床114床にて個人病院開院 平成21年：医療法人取得 現在に至る

2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	114 床	床	床	床	114 床	床
	平均在院日数	日	日	日	811.0 日	
	病床稼働率	%	%	%	67.5 %	



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設 等への移行
	114 床	床	床	床	床	114 床	床

2025年に向けた 病床活用の 見通し	現在の慢性期医療を提供していくが、地域の要望によって介護医療院の検討も行っていく。
---------------------------	---

3. 医療機能について

診療科目	3 科 (内科・泌尿器科・整形外科)
------	----------------------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	○ 精神疾患	在宅医療
	○ 救急	災害	へき地	周産期	小児	その他
	「その他」の具体的な機能					



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	○ 精神疾患	在宅医療
	○ 救急	災害	へき地	周産期	小児	その他
	「その他」の具体的な機能					

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	西吾妻福祉病院	原町赤十字病院	布施医院
主な紹介先医療機関	西吾妻福祉病院	原町赤十字病院	布施医院

5. 当院の特徴について

特徴的な 法人内の連携	法人病院・サ付き住宅・居宅介護支援事業所・訪問介護が密に連携をとり、地域密着の医療・介護を提供している。
特徴的な	

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> 急性期病院での治療が終わり、療養が出来る病院を探しの場合や、在宅での生活に不安がある場合に在宅復帰のステップとしてまた、福祉施設の入居前の準備として入院を対応している。 在宅や福祉施設に戻れない方の長期入院を対応している。
当院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> 慢性期医療は変わらず、医療と介護を中心とした地域の良い環境を作るため病院のリニューアルを検討している。
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	<ul style="list-style-type: none"> 人々と地域の幸せづくりを目指し、患者さまが豊かな人生を送れるようにお手伝いしていく。患者さまの必要に応じて、医療・介護を提供していく

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人 長生病院
所在地	群馬県吾妻郡長野原町長野原7-1
沿革	大正12年初代院長犬塚進により犬塚医院開業。大正14年4月1日 名を改正し、長生医院として開業。2代目院長 犬塚隼人により昭和52年5月23日長生病院として開設。平成21年2月1日 医療法人長生病院として3代目犬塚守人が開設。

2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	39 床	床	床	床	39 床	床
	平均在院日数	日	日	日	31 日	
	病床稼働率	%	%	%	63.4 %	



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	39 床	床	床	床	39 床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	2025年以降も救急医療・高齢者に対応した39床の一般病床を考えています。
-------------------	---------------------------------------

3. 医療機能について

診療科目	9科 (内科、外科、整形外科、小児科、消化器内科、肛門外科、リハビリテーション科、放射線科、婦人科)
------	--

現在	がん	○	脳卒中	○	心血管疾患	○	糖尿病	○	精神疾患	○	在宅医療
	救急	○	災害	○	へき地		周産期	○	小児		その他
	「その他」の具体的な機能										



将来 (2025年)	がん	○	脳卒中	○	心血管疾患	○	糖尿病	○	精神疾患	○	在宅医療
	救急	○	災害	○	へき地		周産期	○	小児		その他
	「その他」の具体的な機能										

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	原町赤十字病院	渋川医療センター	群馬リハビリ病院
主な紹介先医療機関			

5. 当院の特徴について

特徴的な 地域と共に	地域のかかりつけ病院として、また約100年続いた病院として患者様の心に寄り添う医療の提供をすることが当院の特徴と考えています。
特徴的な 入院体制	輪番病院、救急医療告示病院として一般入院の受入れに力を入れています。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none">• 地域の介護施設の連携の中で一般病床の入院確保に努めています。• 365日24時間対応で救急受け入れにあっています。
当院の未来像	<ul style="list-style-type: none">• 同グループの介護施設の増設と医療と介護・町との連携を図っていき、今後も地域の福祉に貢献していきたい。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	昔も、今も、未来も最も安心な医療機関として努めてまいります。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人社団寿山会田島病院
所在地	群馬県吾妻郡中之条町大字中之条町1782
沿革	大正8年初代田島榮吉が田島医院を開業、昭和31年田島一彦が二代目を継承、平成3年田島郁文が三代目を継承。平成12年結核病床6、一般病床16、療養病床54計76床で病院運営。平成14年結核病床廃止しグループホームを開設。平成16年医療法人社団寿山会田島病院を設立し一般病床21、療養病床29、介護療養20計70床で運営。現在、一般病床24、療養病床46計70床で運営している。

2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	70床	床	床	24床	46床	床
平均在院日数(※1)	日	日	31.1日	145.2日	日	
病床稼働率(※2)	%	%	95.0%	58.8%	%	

※1 在棟患者延べ数(年間) / ((新規入棟患者数(年間) + 退棟患者数(年間)) / 2)

※2 在棟患者延べ数(年間) / 許可病床数(現在) / 365

※3 在棟患者延べ数(年間)、新規入棟患者数(年間)、退棟患者数(年間)は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来(2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	60床	床	床	24床	36床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	地域の実動をみて、回復期24床、慢性期36床計60床で病院運営をし、病院での医療と介護施設での介護を続けていきたいと考えています。
-------------------	---

3. 医療機能について

診療科目	4科(内科 整形外科 循環器内科 皮膚科)
------	-----------------------

現在	がん	〇	脳卒中	〇	心血管疾患	〇	糖尿病	〇	精神疾患	〇	在宅医療
	救急		災害		へき地		周産期		小児		その他
	「その他」の具体的な機能										

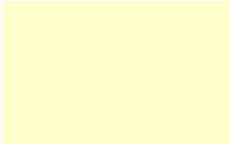
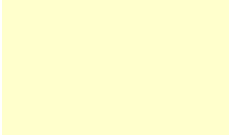


将来(2025年)	がん	〇	脳卒中	〇	心血管疾患	〇	糖尿病	〇	精神疾患	〇	在宅医療
	救急		災害		へき地		周産期		小児		その他
	「その他」の具体的な機能										

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	原町赤十字病院	渋川医療センター	
主な紹介先医療機関	原町赤十字病院	渋川医療センター	県立心臓血管センター

5. 当院の特徴について

特徴的な 	救急医療告示病院、在宅療養支援病院、輪番制病院を受け、地域での救急医療及び高齢者への医療と介護が受けられる体制を整えていることが、特徴と考えています。
特徴的な 	特殊外来として整形外科、皮膚科、循環器内科にも力を入れ充実を図っている。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	地域医療機関と連携の中で、一般病床と療養病床での病院運営を続け、地域に根ざした健康づくりを守るために努力している。
当院の未来像	人口減少に伴い、高齢化が進み、小規模病院の運営は増々厳しくなっている。吾妻郡内及び郡外との医療連携を密にとり、地域医療を進めていきたい。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	常に患者様の立場に立ち、心からの医療を十分に考慮し、早期の社会復帰を目指していきます。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人けんもち医院
所在地	群馬県吾妻郡中之条町大字伊勢町837-1
沿革	大正11年11月3日、吾妻郡内で初めての産婦人科医院として当地に開業。昭和25年眼科を併設。昭和28年1月病院に改組。平成13年11月医療法人けんもち医院となる。

2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	19床	床	19床	床	床	床
	平均在院日数	日	3.0日	日	日	日
	病床稼働率	%	15.0%	%	%	%



将来(2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	19床	床	床	19床	床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	今後も急性期医療の提供
-------------------	-------------

3. 医療機能について

診療科目	3科(産婦人科 眼科 内科)
------	----------------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	○	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地		周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能	内科の充実					

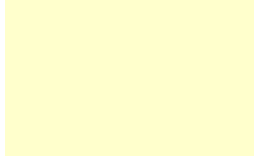
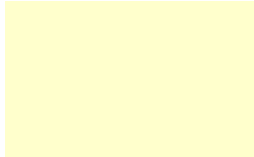


将来(2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	○	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地		周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能	内科の充実					

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	群馬大学医学部附属病院	原町赤十字病院	吾妻脳神経外科循環器科
主な紹介先医療機関			

5. 当院の特徴について

特徴的な 	内科・眼科・産婦人科を軸に専門性を高め地域に密着した医療の提供
特徴的な 	

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	1次医療圏の専門的な日常的医療の提供を行い、症状により、2次医療圏への紹介
当院の未来像	1次医療圏の専門的な日常的医療の提供を行い、症状により、2次医療圏への紹介
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人東瞭会 櫻井医院
所在地	群馬県吾妻郡長野原町大字長野原1585-1
沿革	<p>平成4年4月 櫻井医院 有床診療所（19床）開院。 平成5年 救急医療協力診療所。 平成8年1月 透析病棟増設。 平成16年11月1日 医療法人東瞭会 櫻井医院 と医療法人とする。 平成16年12月1日 救急医療協力医療機関。 現在に至る。</p>

2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	4 床	床	4 床	床	床	床
	平均在院日数	日	1.0 日	日	日	日
	病床稼働率	%	0.2 %	%	%	%



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	4 床	床	4 床	床	床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	4床の有床診療所であり、急性期、回復期、慢性期の患者が利用しています。今後も、救急協力医療機関として救急医療を行ってまいります。
-------------------	--

3. 医療機能について

診療科目	7 科 (外科、内科、胃腸科、肛門科、整形外科、リハビリテーション科、放射線科)
------	--

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	○	糖尿病	精神疾患	○	在宅医療	
	○	救急	災害	○	へき地	周産期	小児	○	その他
	「その他」の具体的な機能		人工透析						



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	○	糖尿病	精神疾患	○	在宅医療	
	○	救急	災害	○	へき地	周産期	小児	○	その他
	「その他」の具体的な機能		人工透析						

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	桜井クリニック		佐久医療センター
主な紹介先医療機関	原町赤十字病院	渋川医療センター	済生会前橋病院

5. 当院の特徴について

特徴的な 救急医療	当院は東西に長い吾妻郡の西にある長野原町にあります。地域の住民の皆様方、また浅間山麓住人の皆様方・草津温泉リゾートマンション滞在者の皆様方・旅行者の皆様方に対する救急医療に携わっている。
特徴的な 透析医療	開院時より慢性腎不全患者様方（地域の皆様方・別荘またリゾートマンションに滞在する皆様方・旅行者の皆様方）に透析医療を提供しています。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<p>疾病の早期発見・早期治療に心掛け適切かつ迅速に対応し、必要により病診連携医療機関・専門医の先生方、また、患者様の希望する医療機関に紹介しています。</p> <p>救急医療は、救急医療告示診療所として対応しています。</p> <p>透析医療を地域の住民の皆様、別荘やリゾートマンションの皆様、旅行者の皆様に提供しています。</p>
当院の未来像	<p>少子高齢化による人口減少化の地域において有床診療所の19床のベッドを、急性期・回復期・慢性期の患者様に提供してゆきます。</p> <p>救急医療は、救急医療告示診療所として対応してゆきます。</p> <p>透析医療を継続してゆきます。</p> <p>地域の病院および診療所と協力し地域住民の皆様方により利便性の高い医療機関になるよう目指します。</p>
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	<p>地域の皆様方に良質な医療を提供することを目標に、また病診連携を図り、これからの社会に求められる医療を目指します。</p> <p>吾妻の奥地には、ハッ場ダム・各地の温泉・四季を通してのスポーツ・ドライブを楽しむ景勝地および山々があります。ぜひ出かけてください。</p>

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	国立療養所栗生楽泉園
所在地	群馬県吾妻郡草津町大字草津乙647
沿革	昭和6年の第59回帝国議会において、当園の設置が決議され、昭和7年11月16日に「国立療養所栗生楽泉園」が創設された。 その後、幾多の変遷を経て国立のハンセン病療養所として85年を超える歴史を有しており、現在に至っている。

2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	395 床	床	床	床	345 床	50 床
	平均在院日数	日	日	日	5,683 日	
	病床稼働率	%	%	%	15.8 %	



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	395 床	床	床	床	床	395 床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	現在は、看護職員の不足により、1個病棟50床を休棟しているが、看護職員が補充されれば開棟する事を検討する予定である。 ただし、その際は原則「ハンセン病問題の解決にの促進に関する法律」に基づく対象患者の入院病棟として運営する予定である。
-------------------	--

3. 医療機能について

診療科目	7科 (内科、外科、皮膚科、眼科、耳鼻科、整形外科、歯科)
------	-------------------------------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能	ハンセン病専門施設				

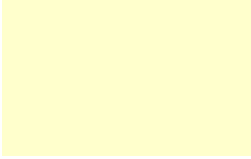
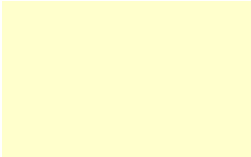


将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能	ハンセン病専門施設				

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関			
主な紹介先医療機関			

5. 当院の特徴について

特徴的な 	「ハンセン病問題の解決の促進に関する法律」に基づく、国立ハンセン病療養所です。 入所者に対して必要な療養を行うため、医療及び介護の充実の他、良好な生活環境の確保に努めています。
特徴的な 	

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	現在、国内には国立・私立をあわせて14カ所のハンセン病療養所がありますが、当園はその一つの国立ハンセン病療養所で、ハンセン病の元患者の方々の療養を目的とした施設として国が運営しています。 昭和19年には1,335名が入所しておりましたが、治療薬の開発・一般化等により発症患者の減少による新入所の減及び社会復帰等により年々入所者数は減少しています。 また、現在の入所者も平均在園年数が66年余と非常に長期な期間入所しており、かつ、最小年齢が74歳と高齢になっています。
当院の未来像	「ハンセン病問題の解決の促進に関する法律」に基づき、入所者に対する医療の提供に支障がない限り、入所者以外の者に対する医療の提供、または、土地、建物、設備等を地方公共団体又は地域住民等に利用を供する方向であるが、具体的なことは未定である。
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	当園では、地域住民と入所者との交流を深めるため、入所者を主体にした園内行事に地域のみなさんにも参加して頂いている。 また、ハンセン病対策の歴史に関する正しい知識を得て頂くため、社会交流会館、重監房資料館の二つの歴史資料館の見学等も受け付けています。